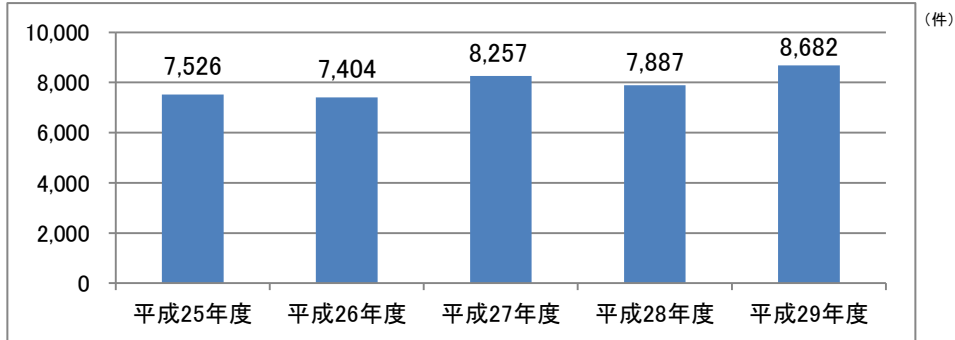


17 病理組織診断件数

○項目の解説

病理診断の結果に基づいて、治療の必要性や治療方法が選択されます。病気の最終・確定診断がどの程度行われているかを表す指標です。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

平成25～29年度まで、年間7,500～8,000件前後の病理組織診断数で推移しております。平成29年度は、前年度と比較して約10%以上の件数増加で、この5年間で最も多い件数となりました。これは、大学病院で治療される患者さんの他施設で行われた病理診断のセカンドオピニオン症例増加によることも多く、臨床各科の医療行為の質管理にもつながっています。大学病院の特性上、診断困難な難解症例が多数ある中、この件数の増加は特記すべきと考えます。

○定義

医科診療報酬点数表における、「N000病理組織標本作製(T-M)」および「N003術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の算定件数です。

入院と外来の合計として、細胞診は含めません。

○算式

実数